

○地域ビジョン（目指す姿）について

新たな交流がつながりを生み

次世代を育む 住みやすいまち

「新たな交流」

南アルプス市で市内外の人々の新たな交流が生まれることを意味します。fumotto 南アルプスを中心とした新たな活力の流れを通じて、地域に暮らす人々との関係を深めながら、賑わいや魅力があふれるまちを構築します。

「つながり」

住民同士のつながりや、企業や地域団体とのつながり（連携）を強化・発展を意味します。企業や地域住民、行政が連携し、地域資源を活かした新たな事業や観光資源を生み出します。

「次世代を育む」

南アルプス市のすべての要素（特色や地域資源）を活かし、持続可能な社会を構築し、次世代へと継承することを意味します。

子育て支援や教育に力を入れ、地域全体で次世代を育てる環境を整え、未来を担う若者たちにとっての大きな成長の土台を構築します。

「住みやすい」

生活するうえで必要となる基盤を整え、だれもが安心・安全で不自由なく住むことができるまちの構築を住民、企業、行政が協力して戦略的に取り組みます。

(要点)

・地域ビジョン（目指す姿）は、本市が抱える課題を明確にし、地域の特色や資源を活かし高めるために設定するものです。

・第2期市総合戦略 目指す姿「魅力と地域力を高め、住みたいまち・子育てしたくなる「まち」を目指す」

・第2期市総合戦略の評価は、「企業誘致や子育て支援策を始め、順調に進んでいる」「社会増が続いている」「これまでの取り組みを強化しつつ、多様な視点で社会状況を注視しながら、推進していくこと」

・第3期市総合戦略では、第2期市総合戦略をもとに、以下のとおり基軸となる施策を設定していく。

前回同様、基本目標1に「企業誘致」、基本目標2に「観光振興」を設定し更なる発展を目指す。基本目標3に「子育て支援」に「教育の充実」を追加することで子どもの成長を支える目標へと強化。基本目標4には、つながりや支え合いを大切にしたまちづくりを目指す施策を設定。基本目標5には、インフラ関係等の地域基盤の強化や環境との調和を目指す施策を設定。

・第1回、第2回グループワーク

『第3期市総合戦略の方向性や地域ビジョン、基本目標の設定について』

1位「つながり」

2位「まちづくり」

3位以下「商工関係（企業誘致含む）」「観光関係」「インフラ」「移住定住関係」

「子育て関係」「教育関係」「福祉関係」「コミュニティ」

・第2回グループワーク（集計結果）

『地域ビジョンの設定に関して必要と考えるワードについて』

「つながる」「拠点」「新たな交流」「昔を取り戻す」「次世代へつなぐ」「楽しい」

「住みやすい・住み続けたいまち」「活性化・活力あふれる」「選択肢がある」「創出」